

令和元年度 磐田市立豊田南小学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標(目標数値) ★磐田市小中学校共通評価項目	評価(%)				自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
			子供	保護者	教師	平均			
	自信を育む学校	よいと思ったことや考えたことを、自分から言葉や行動に表すことができる。(90%)	73	84	84	80	B	○素直で、真面目。規範意識が高い。 ●自分から考えて行動できる子供が少ない。言われれば一生懸命やる。 ○人懐こく、認め合う、譲り合う、教え合うなど、友達へのやさしさがよく見られる。 ●人に頼る。人と違うことを恐れる。高め合い、鍛え合い、刺激し合うという点で弱い。 →表現力の育成。自信を育む授業作り。 苦手なことにも取り組む姿勢の育成。 挑戦する、行動する、体験する場の設定。	弱い立場の子を大切にしている優しさを持っているが、逆に強い立場の子に自分の意見を言えない。自信を持って主体的に行動することや、表現力については、本校だけでなく、日本の子供の特徴ともいえる。 表現力はレジリエンスにも関わる大切なことである。自分のつらいことを言語化することで、自分の中でつらいことを消化でき、前へ進む一歩につながる。
自ら学び「確かな学力」を付ける子の育成へ知	・子供の自信を育む授業づくり ・言葉の力を付け、表現する力を高める ・学習習慣の定着	毎日、家で(学年×10分+10分)以上は学習している。(100%)	81	74	74	76	B	○「学校の勉強が分かる」と実感している子供が多い。 ●「進んで意見が言える」の評価は3者ともに低い。特に教師の評価が低い。 …学習に真面目に取り組む子供がほとんどだが、失敗を恐れて自分の意見を言えない姿も伺われる。 ●「毎日読書をしている」の評価は保護者、教師の評価が低い。 …休み時間に本を借りに行く子どもも多いが、個人差がある。 →対話を重視した授業改善により、少人数の中では自分の意見を言える子が増えてきた。 今後校内研修とタイアップして、自信を育む授業づくりを行う。 表現力を付ける場を設ける。(朝の声出し、語り返しの時間等) 家庭と連携して学習習慣の確立を目指す。 自主勉強により、自分で考えて取り組む機会を低学年から設ける。 貸し出しの機会を増やすことで、年間貸し出し数13冊の目標達成に近づいてきた。今後も本をたくさん借りるように、担任が意識して声掛けを行う。	「進んで意見が言える」に対して、教師の期待の高さや、教師の目の厳しさが表れている。教師のリードの仕方も問題である。上手に子供の意見を引き出すことが大切である。 地域で行っている防災合宿では、子供達の中でリーダーシップをとる子が表れ、生き生きと活動している。環境が変わればできることもある。 進んで意見は言えないが、協調性はあると言える。その中でリーダーシップをとっていく姿が大切なのは。 「毎日読書」は、読書の時間をスマホに「時間泥棒」されている。読書の時間を確保することが大切。
		★学校の勉強が分かる。(90%)	88	83	95	89	A		
		進んで意見が言える。(80%)	62	65	42	56	C		
		★進んで学習している。	77	-	-	-	B		
		毎日読書をしている。(85%)	75	61	63	66	C		
互いに成長できる認め合い育	・社会性の育成 ・心の育成	進んで挨拶する。(90%)	81	73	53	69	C	○「学校が楽しい」の評価が三者共に高い。 ○「協力し合う学級である」の評価が保護者、教師共に高い。 …友達にやさしく、手助けする姿も多い。昼休みには、仲良く遊ぶ姿が多く見られる。 ●自分から自然に挨拶できる子供は多いとは言えない。 →よりよい挨拶を目指した、児童会や教師の仕掛けにより、随分と子供達の挨拶も変化してきた。挨拶の素晴らしい子供を放送で紹介する等、全校に分かる形で挨拶リーダーの姿を示し、これから全校に広げていきたい。	「挨拶しなさい」だけでなく、手立てを講じることが大切。低学年ほど、よく挨拶をするが、高学年は声が小さい。 家庭での教育も大切。家庭環境や発達状況によって違うが、その子なりの伸びを積み上げていくことが大切。 Q Uを2回行い、活用しているのはよい。結果をぜひ、学級で活かしてもらいたい。
		★協力し合う学級である。(90%)	84	94	90	89	A		
		★学校が楽しい。(90%)	85	93	100	93	A		
根気の強くなる心身を鍛える子	・体育授業の充実 ・体育的行事の充実 ・運動・遊びの日常化	目標をもって運動に取り組む。(100%)	89	87	79	85	A	○なわとび、持久走大会に向けた朝マラソン等、体育的行事やイベントを織り交ぜ、自分の目標をもって練習に取り組めるように工夫したことにより、自分から運動に親しむ子が増えた。 ○起床時刻や朝食摂取状況がよい。 …安定した生活を送っていることが伺われる。 →体育の授業研修が活きており、教師が単元を見通して指導にあたり、子供が目標を持って取り組んでいる。学年や学級の取組によって、昼休みにも多くの児童が外に出て体を動かしている。3学期は特に、長縄大会の設定により、昼休みに自主的に練習する姿が目立った。今後も、継続していきたい。	自慢大会や〇〇大会等の機会があるのは、有難い。学習や運動でそれぞれ得意不得意があっても、色々な分野で発表ができるので子供達にとってもやりがいがある。 課外の各種大会が終了することを考えて、次年度の教育課程を話し合われているのは有難い。
		天気のよい日は、外で元気に体を動かす。(90%)	75	82	84	80	B		
		自分で決めた時刻(登校1時間前)に起きる。(85%)	79	75	74	76	B		
		朝ご飯を食べてくる。(100%)	90	95	95	93	A		
一人一人を大事にする教育		★相談できる人がいる。(90%)	87	91	90	89	A	○「相談できる人がいる」「信頼できる先生がいる」の評価は高く、特に保護者の方に高く評価されている。これは、家庭・地域という基盤がしっかりしていること、また、子供理解の難しさや奥深さを感じながら、日々、子供たちと謙虚に向き合う教員の姿勢によるところが大きい。 →教職員の勤務環境改善に配慮しつつ、今後も、地域・家庭の理解・協力を得て、真摯に子供たちに向き合い、共に育ち合う学校づくりに邁進していきたい。	園で預かる3歳の頃から、一人一人と丁寧に関わることを大切にしている。おどおどして、行動できなかった子も3年後にマイクを持って歌えるようになる。子供を受け止めることが大切。子供は受け止められてから表現できるようになる。たとえ、その表現方法がかみつくことでも、そこには理由がある。
		★信頼できる先生がいる。(90%)	88	95	84	89	A		
地域と学校にもある	地域と一体になって子供を育む	★目指す子供の姿、教育内容が分かっている。	-	97	-	97	A	○学校公開の機会や学校便り等を通して、子供たちの頑張る姿を見ていただくことができた。また、個々の子供の様子についても、担任が家庭と細やかに連絡を取り合っている。 ○PTAだけでなく、見守りボランティアや地域の方が非常に協力的でいろいろな場で子供たちを気にして声を掛け、安全確保や施設整備に活動してくださっている。 →ちょっとしたことでも情報交換し、地域や保護者の方とつながり合うことを継続していきたい。	日本には日本のよさがあるが、世界では自分の主張を通す強さも求められている。グローバルな視点から学校に色々な教育が求められるのだろう。学校だけでなく、学校と家庭、学校と地域の連携が大切。 以前は、せっかく園で育ったリーダー性が、小学校で0に戻される節もあったが、最近はつながりが意識されている。

学校関係者評価を受けてのまとめ

本校児童のよさと課題を共有することができた。新学習指導要領や、今日の学校現場で求められている教育の幅広さについて話題になった。「多岐にわたる様々な力の育成が望まれているが、結局、子供達のよりよい未来のためである。」という言葉にはとっした。やらなくてはいけないことは山積みであるが、子供達の実態に合わせて積み重ねていくことが大切であると実感した。「若い先生方がフリートークで「どんなことを大切に子供に向き合いたいのか」を話し合うとよいのでは」という意見を頂いた。求められていることを全般的にこなすことよりも、目の前の子供の姿を見失わず、実態に応じた手立てをとることの大切さを感じた。「『進んで意見が言える』ためには、子供に安全・安心感が必要。そのためには承認(見る・気付く・認める・ほめる・)の土壌が必要」という声や、「子供達のライフスキルとしてレジリエンスが大切」という声もいただいた。どの声も、子供達の環境や心を支えようとする地域の温かさを感じる。地域の方の知恵や手を借りながら、地域と連携して教育活動を推進していきたい。